

第 2 回 豊田市廃棄物処理施設審査会の疑義について

番号	疑義	回 答																																	
1	構造物の基礎について、貫入した基礎の中空部分の処置方法	<p>基礎杭の中空部の処置は行わない。 STJ 工法カタログにある「注水」は、下記の 2 点のために行われるものである。</p> <p>1 被圧水を押さえる 2 セメントミルク注入用のホース洗浄</p>																																	
2	焼却施設に使用される用水及び発生する汚水の詳細な水収支	<p>別添「水収支フローシート」参照 (t/日)</p> <table border="1" data-bbox="564 667 1445 1921"> <thead> <tr> <th data-bbox="564 667 719 719">使用場所</th> <th data-bbox="719 667 863 719">使用水量</th> <th colspan="2" data-bbox="863 667 1129 719">発生活水量</th> <th data-bbox="1129 667 1445 719">使用目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="564 719 719 1149">焼却炉</td> <td data-bbox="719 719 863 1149">10.00</td> <td data-bbox="863 719 963 1149">0.00</td> <td data-bbox="963 719 1129 1149">焼却炉内で完全蒸発</td> <td data-bbox="1129 719 1445 1149">ダイオキシン類及び NOx 抑制対策のため炉内の燃焼ガスの温度を 800 以上、950 以下に保持し、2 秒以上滞留させる。 通常は廃液（廃酸、廃アルカリ）を使用する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 1149 719 1435">焼却炉</td> <td data-bbox="719 1149 863 1435">14.69</td> <td data-bbox="863 1149 963 1435">0.00</td> <td data-bbox="963 1149 1129 1435">焼却炉内で完全蒸発</td> <td data-bbox="1129 1149 1445 1435">燃え殻等の詰まり対策として溶融しない温度に調整する。 発生する水蒸気は送風機からの大気とともに炉内に投入される。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 1435 719 1585">ガス冷却室（減温塔）</td> <td data-bbox="719 1435 863 1585">75.60</td> <td data-bbox="863 1435 963 1585">0.00</td> <td data-bbox="963 1435 1129 1585">ガス冷却室で完全蒸発</td> <td data-bbox="1129 1435 1445 1585">集じん装置の入口許容温度（200 以下）に排ガスを減温する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 1585 719 1776">炉下コンベア</td> <td data-bbox="719 1585 863 1776">0.95</td> <td data-bbox="863 1585 963 1776">0.00</td> <td data-bbox="963 1585 1129 1776">湿灰（含水率 43%）として排出</td> <td data-bbox="1129 1585 1445 1776">焼却灰を冷却し加湿する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 1776 719 1921">各水冷機器</td> <td data-bbox="719 1776 863 1921">2.00</td> <td data-bbox="863 1776 963 1921">0.00</td> <td data-bbox="963 1776 1129 1921">機器を冷却後に再利用</td> <td data-bbox="1129 1776 1445 1921">炉内監視カメラ及び油圧ユニットを冷却する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>使用水量は全て井戸水を利用する。</p>				使用場所	使用水量	発生活水量		使用目的	焼却炉	10.00	0.00	焼却炉内で完全蒸発	ダイオキシン類及び NOx 抑制対策のため炉内の燃焼ガスの温度を 800 以上、950 以下に保持し、2 秒以上滞留させる。 通常は廃液（廃酸、廃アルカリ）を使用する。	焼却炉	14.69	0.00	焼却炉内で完全蒸発	燃え殻等の詰まり対策として溶融しない温度に調整する。 発生する水蒸気は送風機からの大気とともに炉内に投入される。	ガス冷却室（減温塔）	75.60	0.00	ガス冷却室で完全蒸発	集じん装置の入口許容温度（200 以下）に排ガスを減温する。	炉下コンベア	0.95	0.00	湿灰（含水率 43%）として排出	焼却灰を冷却し加湿する。	各水冷機器	2.00	0.00	機器を冷却後に再利用	炉内監視カメラ及び油圧ユニットを冷却する。
使用場所	使用水量	発生活水量		使用目的																															
焼却炉	10.00	0.00	焼却炉内で完全蒸発	ダイオキシン類及び NOx 抑制対策のため炉内の燃焼ガスの温度を 800 以上、950 以下に保持し、2 秒以上滞留させる。 通常は廃液（廃酸、廃アルカリ）を使用する。																															
焼却炉	14.69	0.00	焼却炉内で完全蒸発	燃え殻等の詰まり対策として溶融しない温度に調整する。 発生する水蒸気は送風機からの大気とともに炉内に投入される。																															
ガス冷却室（減温塔）	75.60	0.00	ガス冷却室で完全蒸発	集じん装置の入口許容温度（200 以下）に排ガスを減温する。																															
炉下コンベア	0.95	0.00	湿灰（含水率 43%）として排出	焼却灰を冷却し加湿する。																															
各水冷機器	2.00	0.00	機器を冷却後に再利用	炉内監視カメラ及び油圧ユニットを冷却する。																															